

防衛力強化に当たっての優先事項

- 領域横断作戦に必要な能力の強化における優先事項
 - 宇宙、サイバー、電磁波領域における能力の獲得と強化
 - 従来の領域における能力の強化
 - 持続性・強靱性の強化

航空自衛隊の体制等

- 領域横断作戦の実現のための統合運用
 - 宇宙、サイバー、電磁波領域（航空自衛隊は宇宙領域専門部隊を保持）
 - 総合ミサイル防空能力の構築
- 航空自衛隊の体制
 - 警戒管制部隊のほか増強された警戒航空部隊からなる航空警戒管制部隊の保持
 - 能力の高い戦闘機で増強された戦闘機部隊の保持
 - 増強された空中給油・輸送部隊の保持
 - 陸上部隊等の機動・展開や各国等との安全保障協力等を効果的に実施し得る航空輸送部隊の保持
 - 空中での常時継続的な監視を実施し得る無人機部隊の保持

別表

航空警戒管制部隊	28個警戒隊 1個警戒航空団 (3個飛行隊)
戦闘機部隊	※13個飛行隊
空中給油・輸送部隊	2個飛行隊
航空輸送部隊	3個飛行隊
地对空誘導弾部隊	4個高射群 (24個高射隊)
宇宙領域専門部隊	1個隊
無人機部隊	1個飛行隊
作戦用航空機	約370機
うち戦闘機	約290機

※ 上記の戦闘機部隊13個飛行隊は、STOVL機で構成される戦闘機部隊を含むものとする。

中期防衛力整備計画（平成31年度～平成35年度）（31中期防）（空白関連部分（抜粋））

基幹部隊の見直し等

- 航空自衛隊において宇宙領域専門部隊1個隊を新編
- 地对空誘導弾部隊24個高射隊は維持しつつ、6個高射群から4個高射群に改編
- 航空警戒管制部隊について、8個警戒群及び20個警戒隊から28個警戒隊への改編のほか、1個警戒航空団を新編
- 戦闘機部隊1個飛行隊の新編に向け、必要な措置を講ずる。
- 偵察機（RF-4）の退役に伴い、航空偵察部隊1個飛行隊を廃止
- 空中給油・輸送機能を強化するため、空中給油・輸送機部隊1個飛行隊を新編
- 空中での常時継続的な監視を実施し得るよう、無人機部隊1個飛行隊を新編

宇宙、サイバー、電磁波の領域における能力の獲得・強化

- 宇宙領域における能力
 - 宇宙状況監視（SSA）システムの整備
 - 宇宙設置型光学望遠鏡及びSSAレーザー測距装置を新たに導入
 - 我が国衛星の脆弱性への対応を検討・演練するための訓練用装置や我が国衛星に対する電磁妨害状況を把握する装置を新たに導入
- サイバー領域における能力
 - 指揮通信システムやネットワークの抗たん性の向上
- 電磁波領域における能力
 - 電波情報収集機及び地上電波測定装置等の整備
 - 自動警戒管制システム（JADGE）の能力向上
 - 戦闘機（F-35A）の整備、戦闘機（F-15）の能力向上
 - スタンド・オフ電子戦機等の導入に向けた調査や研究開発

従来の領域における能力の強化

□常続監視態勢の強化

- 早期警戒機（E-2D）の整備
- 滞空型無人機（グローバルホーク）の整備
- 早期警戒管制機（E-767）の能力向上
- 新たな固定式警戒管制レーダーの開発
- 移動式警戒管制レーダー等を運用するための基盤の太平洋側の島嶼部への整備

□航空優勢の獲得・維持

○近代化改修に適さない戦闘機（F-15）について、戦闘機（F-35A）の増勢、短距離離陸・垂直着陸が可能な戦闘機を新たに導入することで代替

- 近代化改修を行った戦闘機（F-15）の電子戦能力等の能力向上
- 戦闘機（F-2）について、ネットワーク機能等の能力向上
- 能力向上型迎撃ミサイル（PAC-3MSE）を搭載するため、地对空誘導弾ペトリオットの能力向上
- 空中給油・輸送機（KC-46A）及び救難ヘリコプター（UH-60J）の整備

□海上優勢の獲得・維持

- 更なる射程延伸を図った空対艦誘導弾の導入

持続性・強靱性の強化

□継続的な運用の確保

- 自衛隊の運用に係る基盤等の防護等に必要な措置の推進
- 対空ミサイル、スタンド・オフ火力等を優先的に整備

□装備品の可動率確保

将来戦闘機に関する取組等

戦闘機（F-2）の退役時期までに、将来のネットワーク化した戦闘の中核となる役割を果たすことが可能な戦闘機を取得する。そのために必要な研究を推進するとともに、国際協力を視野に、我が国主導の開発に早期に着手

その他の取組み

- 施設の老朽化対策及び耐震化対策の推進
- 初等練習機（T-7）の後継となる新たな初等練習機の整備について検討の上、必要な措置を講ずる
- 重要度の低下した装備品の運用停止
- レーダーサイト等の各種装備品のリモート化等による省人化
- 自衛隊病院の拠点化、高機能化の推進

□スタンド・オフ防衛能力

- スタンド・オフ・ミサイル（JSM、JASSM及びLRASM）の整備

□総合ミサイル防空能力

- PAC-3MSE 弾の整備
- JADGEの能力向上
- 新たな固定式警戒管制レーダーの開発
- OE-2Dへの共同交戦能力（CEC）の付与

□機動・展開能力

- 輸送機（C-2）の整備

早期警戒機（E-2D）	9機
戦闘機（F-35A）	※45機
戦闘機（F-15）の能力向上	20機
空中給油・輸送機（KC-46A）	4機
輸送機（C-2）	5機
地对空誘導弾ペトリオットの能力向上（PAC-3 MSE）	4個群 (16個高射隊)
滞空型無人機（グローバルホーク）	1機

別表

※ 戦闘機（F-35A）の機数45機のうち、18機については、短距離離陸・垂直着陸機能を有する戦闘機を整備するものとする。



【F-35Aの整備】



【C-2の整備】



【PAC-3MSEの整備】



【E-2Dの整備】



【KC-46Aの整備】



【グローバルホークの整備】



【UH-60Jの整備】



【F-15能力向上】



【電波情報収集機の整備】